

海岸堤防の嵩上げにより、津波から県民のいのちを守る

－防潮堤や港湾水門の整備完了－

概要

- ◆事業箇所：北茨城市平潟町～神栖市波崎
- ◆計画延長：約195km
- ◆施工内容：堤防嵩上げ、水門整備等

平成23年3月11日に発生した
東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）を教訓とし、
大規模な津波への対策を実施！

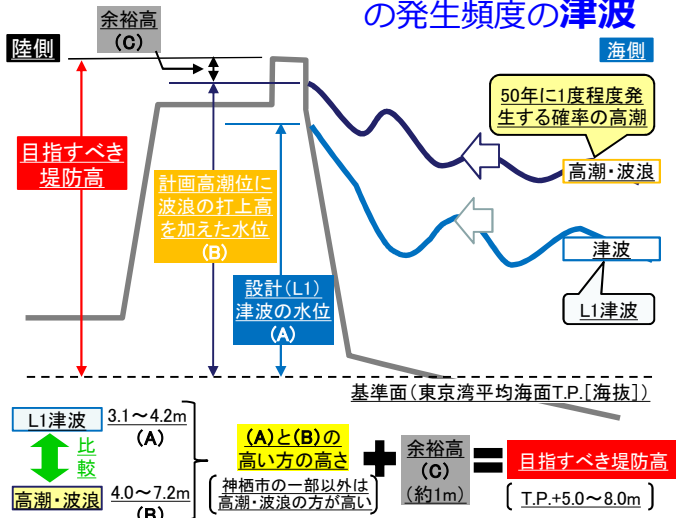


堤防の整備状況

◆堤防の嵩上げ

➡ L1津波※への対策

※数十年から百数十年に1回程度の発生頻度の津波



【整備前】

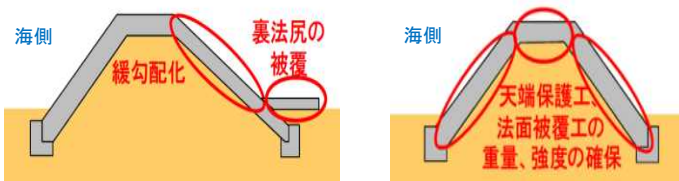


【整備後】

堤防整備【小木津地区海岸】

◆粘り強い構造

- ➡ L1津波より大きな規模の津波が堤防を乗り越えても壊れにくい構造
- ⇒ 避難の時間を確保



水門整備【大洗港区海岸】

整備効果

- ◆東日本大震災を踏まえ、新たに設定した堤防高に基づき復旧・復興事業等を推進！
(堤防の嵩上げ、粘り強い構造の堤防整備)

➡ L1津波への対策が令和6年6月に完了！

浸水被害を軽減！！
避難時間を確保！！